東海ノア
（東海 NOAH）

**第１７号**（平成１６年９月発行）
東 海 ノ ア 協 定 事 務 局
（日本原子力研究所・東海研究所内）
Telephone：029-282-5801
E-mail：t-noah@popsvr.tokai.jaeri.go.jp

東海ノア通信 第１７号 をお届けします。

東海ノア協定事務局では、加盟事業所間の協力のもと、情報の共有化を積極的に推進する活動を進めております。

東海ノア協定に基づく活動状況は、適宜、ホームページでも紹介しております。アドレスは、http://tnoah.tokai.jaeri.go.jp/ です。

トピックス

☆活動状況

・第２６回活動推進幹事会の開催
・自主保安に関する点検協力活動
・安全教育に関する協力活動
・情報交換に関する協力活動
・緊急時に対応するための活動

☆加盟事業所からの紹介

☆今後の活動予定

東海 NOAH：東海村（東海）、那珂町（N）、大洗町（O）、旭村（A）、ひたちなか市（H）

# 活動状況

## ○第２６回活動推進幹事会の開催（平成１６年９月１６日）

主な議題 (1) 自主保安に係る点検協力活動(原燃工)の実施結果について

(2) 東海ノア通信第１７号の発行について

(3) 茨城県原子力防災訓練の対応について

(4) 通報訓練の実施結果について

(5) 平成１６年度茨城県主導通報連絡訓練における東海ノアの対応状況について

(6) 平成１６年度第１回安全教育研修の実施について

(7) 平成１６年度第２回自主保安に係る点検協力活動の実施について

(8) 平成１６年度上期の活動状況と下期の予定について

# 自主保安に関する点検協力活動

## （１）平成１６年度第１回自主保安に係る点検協力活動

・実施日時　　平成１６年８月２日（月）　９時 30 分～15 時 00 分
・事業所名　　原子燃料工業株式会社　東海事業所（所在地：東海村）
・点検協力者　3 名
①核燃料取扱主任者（所属：日本原子力研究所 東海研究所）
②衛 生 管 理 者　（所属：第一化学薬品株式会社　薬物動態研究所）
③防 火 管 理 者　（所属：日本原子力発電株式会社　東海発電所・東海第二発電所）
＊　他　事務局 2 名

・項　　目
1) 安全管理の基本方針
2) 施設内及び他社で発生した事故・トラブルの水平展開状況
3) 緊急時における対応体制、訓練
4) 教育訓練
5) 規定、規則の整備
6) 緊急事態対応策の検討
7) 現場巡視

・点検協力活動の様子

事業所の対応者（左列）と質疑応答を行う点検協力実施者（右側）

対策本部の説明を受ける点検協力実施者（手前左側）

（２）平成１６年度第２回自主保安に係る点検協力活動

協定に加盟している事業所を対象に原子炉主任技術者、放射線取扱主任者、核燃料取扱主任者、衛生管理者、防火管理者等の実務経験のある専門家を派遣し、対象となった事業所の安全管理について様々な観点から確認、意見交換を通じてその事業所の安全管理の向上に役立てるための活動を行っております。

今年度第２回目の活動は、１０月に日本核燃料開発株式会社を対象に実施致します。

・点検協力活動事前打合せの様子

事業所の対応者（左側）と打合せを行う
点検協力者（右側）

点検協力活動については、次月号にて紹介いたします。

## 安全教育に関する協力活動

・加盟事業所で企画主催する講演会･公開講座等への参画

① 安全講演会「自衛隊におけるヒューマンエラー防止

－安全を身につけるには、訓練、訓練－」

ＪＮＣ大洗工学センター
Ｆセルボで行われた安全講演会の様子
２事業所　５名参加

（平成１６年７月６日、ＪＮＣ大洗主催）

② 安全講演会「デュポン社の安全文化と企業倫理」

アトムワールド講堂で行われた講演会の様子
２事業所　３名参加

（平成１６年７月８日、ＪＮＣ東海主催）

③安全講演会「スポーツと健康」

那珂研究所内　多目的ホール
で行われた講演の様子
１事業所　１名参加

（平成１６年７月１２日、原研那珂主催）

④安全講演会「アスベストの知識と使用例」

那珂研究所内　多目的ホール
で行われた講演の様子
４事業所　２１名参加

（平成１６年８月１９日、原研那珂主催）

## 情報交換に関する協力活動

・緊急被ばく医療に関する医療措置訓練の視察

①平成１６年８月２６日　日本原力発電発電㈱主催

１０事業所から１３名参加

訓練概要説明を受ける視察参加者

搬送・医療機関での医療処置状況を視察する視察参加者

## 緊急時に対応するための活動

### ○通報訓練の実施

平成 16 年 6 月 10 日（木）にレーザー濃縮技術研究組合　東海濃縮実験場を発災事業所に想定した通報訓練を行いました。訓練を通じて、東海ノア協定に基づく通報連絡系統の機能の維持向上に努めております。

### ○茨城県主導の通報連絡訓練

①平成１６年６月７日　１５時３５分～

・発災想定事業所：核燃料サイクル開発機構　東海事業所の茨城県主導無予告通報連絡訓練において、東海ノアへの協力要請が通告されました。

②平成１６年7月１４日　１８時３０分～

・発災想定事業所：日本原子力研究所　那珂研究所の茨城県主導無予告通報連絡訓練において、東海ノアへの協力要請が通告されました。

③平成１５年8月２６日　7時５５分～

・発災想定事業所：住友金属鉱山株式会社の茨城県主導無予告通報連絡訓練において、東海ノアへの協力要請が通告されました。

# 加盟事業所からの紹介

## 原研大洗研究所における保安活動について

日本原子力研究所　大洗研究所

はじめに

大洗研究所は、昭和４２年４月に設置され、材料試験炉（ＪＭＴＲ）を用いて軽水炉高度化に対応した燃料、材料等の照射試験を行い世界有数の汎用照射試験炉として、原子力に関するエネルギー研究開発、利用の進展に貢献しています。また、高温工学試験研究炉（ＨＴＴＲ）では、高温ガス炉技術の基盤確立、高度化のための研究開発や核熱利用システムの研究開発、高温工学に関する先端的基礎研究等を進めています。

以下に、大洗研究所における保安活動の一端を紹介します。

## １．　保安管理体制と責任の明確化

### １．１　保安管理体制

保安規定、予防規定等で体制、職務等を規定

### １．２　安全に関する会議体等

原子力安全　；　原子炉等安全審査委員会、原子炉等運転委員会、使用施設等運転委員会、部内品質保証審査機関

一般安全　　；　安全衛生委員会、部安全衛生会議、課安全衛生会議

## ２．　安全衛生管理の目標と職員等への周知・徹底

### ２．１　安全衛生管理の目標

毎年度策定される「安全衛生管理の基本的事項」をもとに「大洗地区安全衛生管理実施計画」を作成し、安全衛生管理の目標、ポイント及び重点項目を設定

### ２．２　職員等への周知・徹底

- 「大洗地区安全衛生管理実施計画」を安全衛生委員会、部安全衛生会議等で周知・徹底
- 「大洗地区安全衛生管理実施計画」をもとに各部の「安全衛生管理実施計画」を作成
- 作成した実施計画は、部・課室安全衛生会議等において職員等へ周知・徹底

## ３．　運転・保守・品質管理

### ３．１　運転管理

- 運転管理体制　；　保安規定、予防規定等で規定
- 運転手引等　　：　運転手引等の作成（改訂）は、部内品質保証審査機関で審査後、部長が承認
- 運転上の制限の遵守　；　記録、監視、巡視・点検等で確認
- 運転計画と管理　；　年間運転計画及び実施計画の作成、通知、関係課室への周知、調整等

### ３．２　保守管理

- 保守管理体制　；保安規定、予防規定等で規定
- 施設等の保守　；施設定期自主検査実施計画等を作成・実施（検査項目は保安規定等で定める）、工程会議を開催

・　非定常作業　　；施工認等を伴う場合は、保安規定に基づく「修理及び改造計画」を作成、部内品質保証審査機関で審査後、部長、所長が承認

３．３　品質管理

・　保安規定、品質保証管理規程及び品質保証基本計画等により活動を実施

・　原子炉等安全審査委員会、原子炉運転委員会、使用施設等運転委員会等において、技術上及び安全上の検討を行い、安全を確保

４．　教育訓練

４．１　教育訓練計画

「大洗地区安全衛生管理実施計画」に基づき計画的に教育訓練を実施

４．２　入所時の教育

放射線安全の基礎、臨界安全、異常時の措置、関連法令、品質保証、施設配属時の教育等を実施

４．３　保安教育訓練記録の一元管理

４．４　協力業者への教育訓練

放射線業務従事者に対する教育訓練を定期的に実施、また、安全講演会等を開催

５．　事故･故障等の対応

５．１　規定等

「原子力事業者防災業務計画」、「防護活動要領」を制定

・　対応体制　；　保安規定、防護活動要領で規定

・　周知徹底　；　教育訓練、訓練等により周知

５．２　対応設備等

・　防護活動本部室、現場指揮所等

・　原災法に規定する防災資機材の点検・整備

・　防災監視システム等の整備

・　非常用電話「8222」

５．３　保安訓練

・　総合防護活動訓練（1 回／年）

・　非常用電話による通報訓練（毎月）
・　消防隊の訓練（毎月）
・　施設で実施する通報訓練等

５．４　予防保全と事故・トラブル事例の水平展開

・　ヒューマンエラー等に関しては、随時、「事故調査委員会」を設け、原因及び再発防止策を評価、安全管理に反映
・　他事業所及び商用炉のトラブル事例を水平展開し、再発防止策を実施

６．　安全文化の醸成･モラルの向上

６．１　安全文化の醸成に係る活動

・　安全衛生委員会、部・課室安全衛生会議等を開催
・　所長、部・課長（室長）パトロールを実施
・　関連行事の実施、スローガンの配布・掲示、小冊子の配布、ヒヤリハット活動

６．２　協力会社とのコミニュケーション

・　安全協議会、教育訓練、講演会の開催
・　請負業者安全衛生連絡会の開催

６．３　地元への情報発信

・　施設見学会、講演会
・　周辺自治体が開催するイベントへの参加
・　成果報告会の開催、講演会等への講師の派遣
・　「原研ニュース・夏海湖の四季」の地域住民及び自治体等への配布

以上のとおり、研究開発活動の推進にあたっては、国民に信頼される研究所を目指し、安全の確保に万全を期するとともに、積極的な情報公開、大学及び他の研究機関との連携、協力の推進を図り、開かれた研究開発活動を進めて参ります。

# 今後の活動予定

・茨城県原子力総合防災訓練協力・・・・・・・・・・・・　９月

・安全協力委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０月

・平成１５年度第２回自主保安に係る点検協力活動・・・１０月

・安全教育研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１月

・活動推進幹事会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２月

## 編集後記

東海ノア通信も第１７号を発行する運びとなりました。

東海ノアに関するご要望、ご質問等がございましたら事務局までお寄せ下さい。

(東海ノア協定事務局)